

社会的責任を果たすCSR活動

日本化薬グループでは、お客様に最良の製品を提供するために、製品やサービスの安全性・信頼性に配慮しています。また、ステークホルダーのひとつである地域の皆さまとコミュニケーション活動を活発に行い、地域に根付いた会社でありたいと願っています。

お客様への取り組み

アクションプラン 医薬品情報センターの充実

2014 年度の目標 「日本化薬と医療機関等との関係の透明性に関する指針」をウェブサイトで公開
農業安全使用のために現地指導を継続実施

評価



お取引先・株主への取り組み

アクションプラン 適時適切な情報開示を行う
CSR 調達の推進

2014 年度の目標 原材料および間接材のグリーン調達実績の集計を実施、CSR 調達の運用の準備
適時適切な決算説明会・取材対応・情報開示により株主の信頼を獲得

評価



お客様への取り組み

TOPIC ダイアジノンのパッケージ変更

アグロ事業部の主力製品である「ダイアジノン粒剤5」が販売開始から半世紀を迎えました。これを機に、これまで紙袋であった包装を、ラミネート袋へ変更しました。これにより、見栄えのよい外観に加え、適用作物や害虫の適用内容表記が見やすくなりました。また袋のバリア性が向上しました。

これからも土壌害虫を中心に幅広い害虫と作物に適用を持っているダイアジノン粒剤がより身近になるように努めてまいります。



適用作物をデザインした「ダイアジノン粒剤5」

お取引先への取り組み

TOPIC 購買説明会の開催

セイフティシステムズ事業本部では、日頃お世話になっている原材料供給協力会社の皆さまを対象に、年1回、購買説明会を実施しています。これは、当事業本部の当年度業績見込みの説明、次年度以降の事業計画、生産体制の現況、開発計画、今後数年間の事業ビジョンを説明させていただき、協力会社の皆さまの事業計画に資する情報の一つとしていただくことを目的としています。

めまぐるしく変化する国内・国際情勢、原料相場、為替変動に即応しながら、顧客に遅滞なく高品質・低コストの製品を供給し続けなければならない自動車産業のサプライチェーンを担う協力会社の皆さま、および当社にとって貴重な情報交換の場とすべく、可能な限り協力会社の皆さまにとって有益な情報を提供させていただくことを心掛けています。

毎年、約80社・100名を超える皆さまにご参加をいただき、当社の各部門と情報交換を行っていただいておりますが、当事業のグローバル化の進展に伴い、年々海外の協力会社の皆さまのご参加が増加している状況です。



主な取り組み

- ・くすりの相談窓口（医薬品情報センター）
- ・農業の使用方法的指導
- ・各種展示会

お客様

主な取り組み

- ・CSR調達
- ・日本化薬と医療機関等との関係の透明性に関する指針

お取引先

主な取り組み

- ・株主総会
- ・株主通信
- ・投資家向け説明会
- ・投資家向け個別ミーティング
- ・アニュアルレポート

詳細はウェブサイトをご覧ください。
<http://www.nipponkayaku.co.jp/csr/social/persons.html>

株主

主な取り組み

- ・ピンクリボン活動
- ・難病とたたかう子どもと家族の滞在施設「あすなるの家」
- ・工場祭
- ・懇談会
- ・地域清掃
- ・公開講座
- ・各種寄付

社会

主な取り組み

- ・各種研修（コンプライアンス、CSR、メンタルヘルス、人事、各事業部）
- ・各種アンケート（意識調査、コンプライアンス）
- ・社内報（グループ報、単体報）
- ・方針TV放映
- ・社内通報制度（社内、社外窓口）

詳細は18,19ページをご覧ください。

従業員

社会への取り組み

TOPIC 情報サイト「リウマチら・ら・ら」の公開

「リウマチら・ら・ら」はリウマチ患者様のための情報提供サイトとして2015年2月に公開しました。「リウマチ患者様の日常に寄り添い、ここから支える存在になりたい」そんな思いを込めサイトを作成しました。



本サイトの特長は、リウマチ患者様も使いやすい、やさしい（アイコンを大きくタッチしやすい）デザインでスマートフォンにも対応していること。内容面では、患者様が知りたい情報を可能な限り網羅し、リウマチの原因や症状、治療について、気になる医療費やケア、病院検索などさまざまなコンテンツを掲載しています。

また、リウマチ治療時に利用可能な高額療養費制度についても掲載しており、高額療養費のシミュレーションを行うことも可能です。さらに、リウマチ専門医の監修による「リウマチ体操」動画はリウマチの患者様が好きなときに自宅でゆっくり楽しく体操ができます。

“Feeling Happy”とよつ葉のクローバーは日本化薬のイムノロジー（免疫）領域のイメージロゴです。よつ葉のクローバーのように患者様に寄り添い、ここから支える存在になりたい。病気の治療も、より良い日々の暮らしも、あたらしい視点で支えます。患者様、一人ひとりの“Feeling Happy”のために。

社会への取り組み

アクションプラン

地域社会とのコミュニケーションを行う

2014 年度の目標

ピンクリボン活動の継続
「あすなるの家」の継続的な管理運営

評価



TOPIC インデットセイフティシステムズ社 (ISS) 交通安全子ども自転車大会への協賛

自転車はヨーロッパでは人気のスポーツです。チェコでも休日などに本格的なロードバイクに興じたり、専用自転車道路でサイクリングを楽しむ家族連れをよく見かけます。最近、日本では、自転車のマ



ナーについてニュースになりますが、ヨーロッパでは自転車も右左折時に手信号を出すなど、交通ルールを守って運転することが一般に浸透しています。

チェコでは運輸局の中にあるBESIP（チェコ語で交通安全という意味）という団体が、正しい自転車の交通ルールを学ぶために、自転車の交通安全大会を警察と協力して毎年チェコ全国で開催しています。この交通安全大会に、各学校の代表者4名（男子2名、女子2名）の10歳から16歳までの子どもたちが参加し、“道路標識の知識、自転車の運転技術、応急救護などの知識・技術”を競います。各地域での交通安全大会の優勝者は全国大会に出場し、さらにその優勝者はヨーロッパ選手権に出場することになっています。

ISSは、自動車安全部品を製造する会社として、子どもたちに交通ルールの知識を深めてもらい、安全に楽しくサイクリングしてもらうように2013年から地元のズリーン州の大会に協賛しています。



リウマチら・ら・ら URL
<https://rheuma.jp>

従業員への取り組み

企業の主体は“人”。日本化薬グループは、従業員が安心して働ける環境の中で一人ひとりが持てる能力を発揮し、仕事を通じて社会に貢献することで働きがいを感じる事が大切だと考えています。

アクションプラン 多様な人材の活用

2014 年度の目標 ダイバーシティの拡大
メンタルヘルス研修実施

評価



グループ管理本部長メッセージ

当社は KAYAKU spirit の実現を目指し、その行動主体である社員全員が自信と誇りを持ってそれぞれの役割と責任を果たしていけるよう、さまざまな制度の改革に努めてきました。年齢や性別、学歴にこだわらない職務配置と処遇を可能にした「ポジションクラス制度（職務等級制度）」は導入後すでに16年目を迎えています。また性別に関係なく自発的にチャレンジできる管理職層への登用システムにより、女性の昇格者も年々増加しています。さらに導入時から継続就業を希望する定年到達者のほぼ100%を再雇用してきた「シニアパートナー制度」や養護学校とタイアップして進めている障がい者雇用など、ダイバーシティの推進にも積

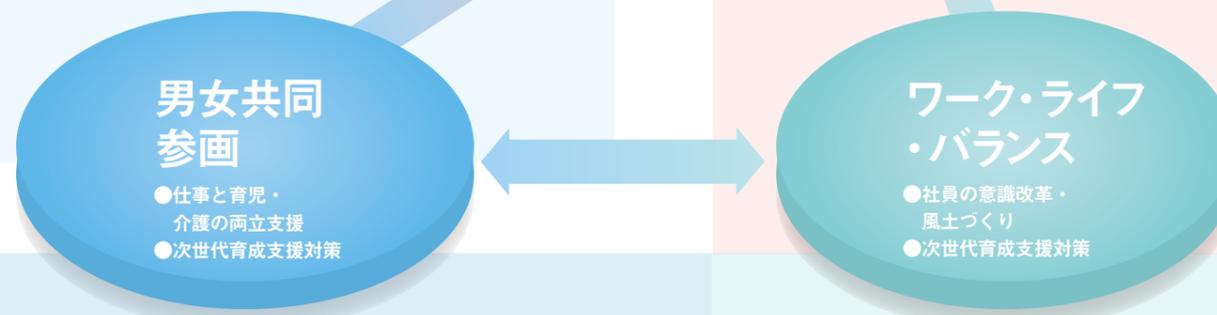


グループ管理本部長
平尾 宰

極的に取り組んでいます。一方、事業のグローバル化はますます加速しており、それに伴って駐在員の赴任前・後教育の実施はもちろんのこと、現地スタッフの計画的な研修も進めています。今後も環境の変化に柔軟な対応ができるよう、これまでの常識や慣習にとらわれることなく、新たな発想で体制の整備に取り組んでいきます。

今後も環境の変化に柔軟な対応ができるよう、これまでの常識や慣習にとらわれることなく、新たな発想で体制の整備に取り組んでいきます。

今後も環境の変化に柔軟な対応ができるよう、これまでの常識や慣習にとらわれることなく、新たな発想で体制の整備に取り組んでいきます。



男女共同参画

- 仕事と育児・介護の両立支援
- 次世代育成支援対策

ダイバーシティの推進

- 女性管理職 8%目標
- 障がい者雇用 2%達成
- 社員のグローバル化
- 高齢者雇用制度の充実
- 人権の尊重



医薬事業本部 営業本部 医薬研修室長
青野 雅子

※【MR】 Medical Representative (医薬情報担当者)

ワーク・ライフ・バランス

- 社員の意識改革・風土づくり
- 次世代育成支援対策

ダイバーシティの推進

女性MRの活躍

当社は、1969年から長年にわたり抗がん薬を手がけてきています。現在では、日本で一番多くの抗がん薬を扱い、医療機関に安全性や有効性の情報を提供していますが、その役目を担っているのが、MR*です。MRは「人の命に関わる製品をお届けする」という社会的使命感と、しっかりとした医学・薬学・製品知識、この2つを併せ持つ人材であることが重要ですが、当社MRの中でもより専門性を高めた「がん専門MR」に女性が認定されるなど、今まで以上に女性が活躍できる職種だと考えています。私は医薬研修室長として、日々MRのレベルアップを図り、医療関係者のよきパートナーを育成するべく、努力しています。もちろん、研修では男性女性の区別なく指導していますが、これは女性にも「得意先から信頼されるMRとしての活躍のみならず、将来のリーダーとしても育てほしい」との切なる願いからです。「女性が働きやすい環境の実現、女性の活躍」はダイバーシティの実現につながり、組織の能力を最大限発揮できると考えています。

グローバルな人材の活躍

日本化薬のチェコにある子会社のISSに勤めていた10数年を振り返ってみると、現地社会の発展への貢献を考慮しながら、出資先の各国の文化、風土、人権に対する忠実なリスペクトを戦略判断や日常ルーチンに自然に入れこみ、日本化薬のCSR経営が実践されていることを実感できました。

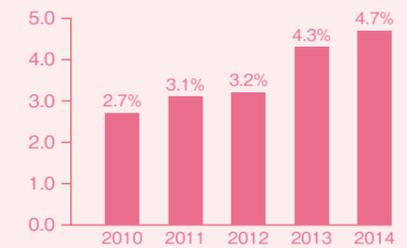
本社の勤務になってから、ダイバーシティ、オープンマインド性を積極的に推進している職場で仕事ができ、非常に楽しく思いました。仕事のやりやすい環境がとても大事ですが、安心して会社のために力を発揮するには、外国におかれている家族へのサポートが不可欠です。サポートとは、日本の社会、文化にできるだけ浸透し違和感なく喜びが多い生活を送ることができるための条件をつくりあげることだと思います。

これから会社が発展していく中で、本社や各事業所での外国人採用や研修生受け入れが多くなることには間違いありません。異なる国の人たちが同じ職場で同じ目的に向かい毎日交流すれば、お互いに得るものは多く、失うものは何もないと確信しています。日本化薬の社名に発祥地の日本という字が入っていますが、ますます世界社会の一員としての存在感を高めているNK Groupで働けることは、とても幸せです。



セイフティシステムズ事業本部 企画部
ヤロシャク パベル

DATA 女性管理職比率の推移



男女共同参画のための制度の充実

男女共同参画のために、社内制度の拡充並びに制度活用の促進に取り組んでいます。次世代育成支援対策では、従来より育児休業制度をはじめ、法を上回る内容の諸制度を導入し、取り組んでいます。



「特別有給休暇制度」の充実

2年間、取得をしなければ有効期限が切れる年次有給休暇を積み立て、特定の理由があれば使えるようにする「特別有給休暇制度」など、従業員のワーク・ライフ・バランスのための支援をしています。取得にあたり煩雑な手続きが必要なものではなく、用途によって、その事実を証明できるものがあれば申請できるなど、利用しやすい制度としています。また、一度取得した場合でも、再び限度日数まで積み立てることができるなど、従業員の利用しやすさを第一に考えています。

●特別有給休暇制度

用途	充当日数
私傷病のための連続4日以上療養またはリハビリテーション、アフターケアのための通院(医師の診断書の期間内)	最大60日
2等親以内の親族、おじ、おばの介護	45日
研修やボランティア活動に参加	30日
日本化薬カフェテリアプランのアクティブポイント使用に伴う休暇	5日
未就学児童の検診、予防接種のため休暇を必要とする場合	5日
不妊治療のために必要とする場合	60日
育児休業に充当する場合	10日
子ども看護休暇への充当	10日

ワーク・ライフ・バランスの充実

日本化薬グループは、コンプライアンスやメンタルヘルスの観点から、労働時間の適正な把握、状況に応じた対応を行い、労使協力して労働時間管理の徹底に取り組んでいます。さらに、ワーク・ライフ・バランスの充実という観点から、従業員の所定外労働の削減や、有給休暇の取得率向上を目指しています。実現するためには、業務生産性の向上と付加価値創造に向けた社員の時間管理に対する意識改革(職場風土)が重要であると考えています。

日本化薬の次世代育成支援対策

従業員の家族が従業員の働いているところを実際に見学できる「お子様のための本社会見学会」を実施しました。また、東京事業区、鹿島工場、厚狭工場、カヤク・ジャパン(株)厚

狭工場、化薬(湖州)安全器材有限公司においても会社見学会を開催しました。



DATA 日本化薬の次世代育成支援対策の行動計画と達成状況

<http://www.nipponkayaku.co.jp/csr/social/employee.html>

